

ケニア国の保健セクター（疾患・死亡原因）

ケニアの疾患はこれまでHIV/AIDS、マラリア、結核などの感染性が大半であったが、この10年で非感染性疾患（Non-Communicable Diseases : NCDs）が増加。今後も拡大すると予想されている。

- 2016年に報告された死亡者数全体の27%がNCDs
- 糖尿病で年間2万人が死亡。成人（20－79歳）の罹患者割合は2.2%
- 循環器疾患の死亡が6-8%で高血圧患者は成人の12-18%
- 2016年の死因トップは肺炎（11%）、マラリア（8%）、癌（8%）、HIV/AIDS（5%）、貧血（4%）、心臓疾患（3%）